

令和5年度「#あおばな in 横内中学校」開催概要

小・中学生と知事との交流を通して、県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や将来への期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり青森市立横内中学校で開催しました。

○日時：令和5年9月21日（木）14：00～15：30

○場所：青森市立横内中学校

○参加学生：全校生徒171名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見に知事がお答えしました。

- ①中学生のうちに大切にしておくべきことについて
- ②リーダーとして心掛けていることについて
- ③若者定着と今後の青森県の姿について
- ④本県医療の課題解決に向けた政策について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

「学び」というのは非常に大事です。私は決して皆に何かを教えに来たとは思っていません、むしろ今の中学生がどんなことを考えているのか知りたいし、自分の考えを伝えることで皆さんのスイッチが入ってくればいいなと思っています。

私は、対話を通じて、青森県が良くなってくると信じています。今日はこうして横内中の皆に、私自身の率直な思いを伝えることができたし、皆の夢もそれぞれに聞くことができたし、そして対話の大切さも伝えることができて、本当に嬉しかったです。

ボールを見たら思い出そう、対話の仕方。君たちにはその力があります。一人ひとりよりも、友達と一緒に考えて物事を進めた方が絶対に上手くいく。

そうする環境がこの学校にはあるし、皆を見ていると、その可能性すごく感じましたから。本当に頑張ってください。

